



日本共産党北区議会議員

さがらとしこ

区政レポート

2012.8.31.No1081

ご相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

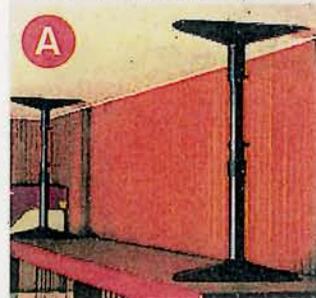
株式会社・大手企業が区内に認可保育園 ※3定例会の内示 家具転倒防止500セット追加補正

◎ 8月末~10月上旬に向け、前年度決算審査をふくむ、※3定例会区議会がはじまります。

8月29日(水)は、条例や補正の案が内示されました。この中には、株式会社が認可保育園(0歳~2歳、田端駅前)を区内に初めてつくるということもはっていました。新たな動きです。全長協議会は9/4(火)10時~、本会議は9/11(火)、12(水)で、日本共産党はこののやまけん区議が代表質問を行います。

定数削減の動き この向の幹事長会で、自公などと党傾りから、今議会で定数削減を提案したいの表明がされました。8/31(金)は、各派総会や議運です。

◎ 高齢者世帯などに無料で設置します。



防止器具の一例です。
詳細は、北区防災課へ
●3908-8184

子育て新システム学習と 日本共産党を語る集い



「保育料やサービスはどう変わるの？」
「株式会社が保育園を運営するようになるの？」
野田内閣がねらう「子ども・子育て新システム」で保育はどうなるのでしょうか。
日本共産党の考えをお話します。
ぜひ、ご参加ください。

9月11日(火)

午後6時30分開会

岸町ふれあい館第1集会室

●講師 米沢 玲子さん 日本共産党中央委員会 女性委員会
●あいさつ 池内さおり 衆院12区青年部長
前都議会議員 かねはじめ

主催・日本共産党北地区委員会 北区中十条2-11-6 ☎3906-2821

体調に気がつくまで、
おすこいさん。
残暑がつかつか、
暑い!!
と、か



ことしも9/9(日) ぶどう狩り(板橋区大門)と 温泉(さやの湯)ツアー

ぶらっとバスで...
小さな秋*見~つけた!

とき:2012年9月9日(日)

- ①桐ヶ丘中学校前 朝9時30分出発
- ②八幡小北バス停(北団地入り口)9時35分
- ③法善寺前バス停 9時40分
- ④都営赤羽住宅前バス停 9時45分
- ⑤赤羽郷バス停前 9時50分

参加費:お一人2800円(バス代、ぶどう園入園料、入湯料含む)
主催:日本共産党あかぎり後援会(3905)0970

消費税増税・実施を中止させましょう!

*新署名活動もおこないます。9/16(日)午後5時30分~

日本共産党街頭演説*赤羽駅東口

社会保険・厚生年金病院にさらなる売却の動き 川崎社保病院に続き、宮城厚生年金病院も！

8月27日に厚生労働省が、共産党の田村智子参院議員に対し、昨年新たな「地域医療機能推進機構」の設置が決まって公的存続の道が開かれた社会保険・厚生年金病院について、2年後に新医療機構が発足する前に、売却を進める取り組みを報告に来ました。

■大学などへの譲渡を優先的に

新たな措置の1つは、当該病院がある都道府県内の医療関係の大学が要望した時、優先して譲渡するとの規定です。

すでに具体的に、宮城厚生年金病院を東北薬科大学に譲渡する話が進んでいるとのことです。

昨年の法改正時に、民主が民営化にこだわる自民・公明やみんなの党に妥協して売却組織(RFO)を3年も延命させたことが原因です。

二つ目に、社会保険病院などの運営を委託している地域医療振興協会が、譲渡を希望した時も優先的に随契で行うとされ、この対象となりうるのは、北社保病院だけです。

田村議員は、当面、医療や職員雇用の水準に悪影響が絶対ないよう強く求めました。

公的病院だからこそ保険外の差額ベッド料等の勝手な値上げを抑えられることから、完全民営化には警戒が必要です。

(写真は、北社会保険病院と懇談する笠井衆院議員、田村参院議員とそねはじめ前都議、区議団)



9月16(日)～17日の、第13次 東北ボランティアにご参加を

北区の共産党と後援会は、これまで12回の東北被災地支援ボランティアを取り組みましたが、今回のボランティア派遣は9月16日から17日の二日間となります。

引き続き、仮設住宅への訪問と物資配布、被災地見学が主な活動です。(第12次隊は女川原発まで出かけてきました)9月初旬までは参加申込みを受け付けますのでよろしくお願ひします。なお支援物資の提供は、お米・新品の下着類、毛布タオルなどに限らせていただきます。

◆連絡・問い合わせはそねはじめ事務所(3907-1135)



日本共産党・前都議会議員

そねはじめレポート

2012年8月29日発行 第53号

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel:3907-1135
Fax:3906-3225

尖閣買い取る金があるなら熱中症・孤独死対策を 都議団が要求

都内で数十人の熱中症死亡者が！

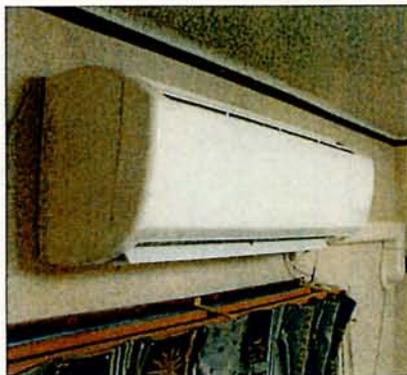
例年を上回る厳しい猛暑が続き、熱中症で亡くなる低所得・生活保護の高齢者が相次いでいます。

国は昨年、低収入者向けのクーラー設置支援を始めましたが、生活保護だけでくらす人には適用されません。

共産党都議団の要望で、都は「クーラー設置費助成」を4万円の不十分な額で実施しましたが、昨年の単年度事業で終了してしまいました。

《昨年以上回る暑さの今年も必要》

共産党都議団は8月3日に、クーラー補助の再開を申し入れましたが、まだ実現していません。



北区でも厳しい残暑の中で、医師から「じん不全で通院している70代の生活保護の男性患者が、暑さで脱水傾向にあり心配」との連絡が区議団にありました。区に相談しましたが「今年

は、生活保護費からクーラー代は出ない」と冷たい対応です。

《孤独死を野放ししてよいのか》

いま中古のクーラーを分割払いでつけられないかと土建組合の方に相談していますが、命にかかわり、孤独死になりかねない問題だけに、行政のあまりに理不尽な対応に、強い憤りを感じます。

せめて昨年並みの金額でも助成が復活すれば、多くの生活保護世帯が助かるはずですが。

《尖閣予算で数万台のクーラー可能》

石原知事は、尖閣諸島の買い取りに躍起になっていますが、全国から寄せられた募金を除いても、買い取りにかかる都民の税金で、数万世帯の生活保護世帯にクーラー補助ができるのです。

今号「さがらレポート」2012.8.31. 2面には、「そねはじめレポート」の一部を紹介させていただきます。
2012.8.29. No.53.